

**「改憲阻止」の大義のために、いまあなたに求められているもの
——衆院京都三区補選によせて——**

- *安倍政権は戦争法を強行した。だが憲法改正そのものはまだためらっている。
- *国会の三分の二、国民投票における過半数のいずれも確保できる見通しが、まだ立っていないからだ。
- *それは、自民党が民進党と共産党との間にくさびを打ち込むことができたときだ。
- *そのときこそ安倍政権は、9条の改廃をはじめとする憲法改正を公然と真正面から提起してくるだろう。
- *「自公対民共の対決だ」と叫びつつ、民と共との離間を最も願っているのは自民党であり、安倍首相そのひとである。
- *こうした政治的文脈のなかに、京都三区の補選をおいてみたら、どうだろう。
- *「健太ではねー」と白けていたために、「おおさか維新」の候補に名をなさしめたら、いちばん喜び、拍手喝采するのは、安倍首相だろう。
- *それに衆参同日選挙にでもなったら、いやおうなしに「健太ではねー」などといってはおられない。
- *「改憲阻止」の大義のため、いま、衆院京都三区の有権者あなたに求められているもの、それは「健太に投票」することだ。